

# 2018WORLD ROWING UNDER23 CHAMPIONSHIPS REPORT 4 (7/22)

9:03 バスでポートコースに向け出発

9:16 ポートコースに到着

コースオープン前日となり、にわかにもコースも賑わってきました。またコースオープン前にもかかわらずOCが運行してくれているシャトルバスのコースも、他のホテルを回り出し、最短10分程度で到着できたホテルコース間も昼頃からは20~30分程度かかるようになっていきます。さらに平日は渋滞もあるという情報を、昨年のWC2経験者から提供されているので、レースが始まるまでの間に感覚をつかむようにしていきます。



エルゴメーターテント(手前)と選手計量所・手荷物預かり所(奥)のテントも中を覗けるようになった。



艇置場近くのインフォメーションセンターは、看板が張り出されていたが、シャッターが閉まっていた。

コースオープン前日となり、OCのオフィスも開いていたため、

- ・ADカード及びランチチケットの受け取り
- ・クルーのシートチェンジの申請
- ・コミットメントフォームの提出及び写真撮影(一部の選手)

などを一気に終えることができました。これから毎日顔なじみになったスタッフからの情報とインフォメーションセンターでの情報収集が重要になります。



トレーニングに向かうBW2xクルー〔写真左:左から中条選手(DENSO)、S米川選手(早稲田大学)〕とBLW4xクルー〔写真右:手前からS瀧本選手、3成瀬選手、2高島選手(以上明治大学)、B石垣選手(法政大学)〕。写真にうつる後方の様子からも、参加国が続々と到着していることがわかります。



B5トレーニングを行うBLM4xクルー。左からS宮浦選手(中央大学)、3武田選手(関西電力美浜)、2新井選手(慶應義塾大学)、B一瀬選手(仙台大学)



1xでトレーニングを行う安井選手(早稲田大学)。



BLM1xの伊藤選手(早稲田大学)は、現地ファンに写真を撮られ笑顔の対応。



1本1本を大事にコンビネーションを高めていくBM2xクルー。左からS櫻間選手(同志社大学)、B木村選手(日



スウィープでも大きなストロークが表現できているBW2クルー。左からS高野選手(立命館大学)、S西原選手(東北大学)



今大会のADカード(左)と食券兼手荷物預かり用カード(右)。大会運営の効率化が進められています。



ポズナンの中心となる駅のすぐそばのビルでも、U23世界選手権の宣伝をしてくれています。町全体で大会を盛り上げようという姿勢が伝わってきます。

会場の準備も着々と進み、現地ボランティアが熱心な活動を見せる中、各クルートレーニングを行いました。

12:30 ボートコース発のバスでホテルへ。

12:50 ホテル着。そのまま昼食。

16:00 ホテル発のバスでボートコースへ。

16:20 ボートコース着。

18:30 ボートコース発のバスでホテルへ。

18:58 ホテル着。

明日はいよいよコースオープン。色々なところが稼働し始めますので、チーム内での情報共有をしっかり行いながら集中してトレーニングしていきます。